

令和6年度12月号



らいぶらいーにゅーす

さいたま市立東宮下小学校図書館

例年より気温の高い時期が続いて、気がつけば12月。2学期もうすぐ終わりですね。今年
はどんな本との出会いがあったのでしょうか。体調管理に気をつけて、よい年を迎えてください。

たにかわしゅんたろう 谷川俊太郎さん



11月13日に詩人の谷川俊太郎さんが92歳で亡くなりました。作品のいくつかは教科書
にも掲載されて、学校でも長く読み継がれてきました。谷川さんが翻訳をした『スイミー』や
『にじいろのさかな』などで、谷川さんの文章に出会っている人もたくさんいますね。やさし
い言葉でむずかしいテーマや深い内容に出会わせてくれる作品から、言葉の楽しさ美しさを感じ
させてくれる作品まで、豊かな言葉の世界を見せてくれる谷川俊太郎さんの作品をこの機会
にぜひ読んでみてください。学校図書館で所蔵している作品の一部を紹介しします。「本の城」
と「本のワンダーランド」の二か所に特設コーナーがあります。

『生きる』 谷川俊太郎／詩 福音館書店(E)【城】

『どきん』 谷川俊太郎／作 理論社 (911)【城】

『谷川俊太郎詩集 たったいま』 谷川俊太郎／作 講談社 (911)【城】

『ふじさんとおひさま』 谷川俊太郎／作 童話屋 (911)【城】

『へいわとせんそう』 たにかわしゅんたろう／ぶん Noritake／え (E)【ランド】

『これはのみのぴこ』 谷川俊太郎／作 和田誠／絵 サンリード (E)【ランド】

『スイミー』 レオ・レオニ／作 谷川俊太郎／訳 (E)【ランド】

『ともだち』 谷川俊太郎／文 和田誠／絵 玉川大学出版部 (E)【ランド】

『いつもちくこのおとこのこ ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー』

ジョン・バーニング／作 谷川俊太郎／訳 あかね書房 (E)【ランド】



ふゆやす まえ とくべつかしだし 冬休み前の特別貸出



- ◆ 12月10日(火)～13日(金) 一人3冊まで
- ◆ 借りた本をぬらしたり、汚したり、破ったりしないようにしてください。
- ◆ 本をなくさないように、気をつけましょう。
- ◆ 学校図書館の本を、市立図書館へ間違えて返さないようにしましょう。



◆◆ 新 しい 本 が 入 り ま し た ! ◆◆



「銭天堂」「3分間サバイバル」「時間割男子」などの人気シリーズの最新刊や続編の他、たくさんのお本が入りました。おすすめの本を紹介します。

『まゆとブカブカー』 富安陽子 / 文 降矢なな / 絵 福音館書店(E) 【ランド】 *



やまのむすめまゆはあめのふりつづいたあるひさんぽにでかけます。そこへいたちが「あかいぼうしのブカブカーがでえたあ!」とさけびながらはしてきました。「あかいぼうしのブカブカー」ってなんでしょう?

『あいたいなシマエナガ』 山本光一 / 写真 世界文化社(488) 【ランド】

北海道でくらす小さな鳥、シマエナガ。一年の多くを群れで暮らし、時にはほかの鳥ともなかよく行動します。ふわふわでもふもふの愛らしい姿をしていますが、毎年新しく作る巣がこわされることがあっても、決してあきらめず何度も作り直す我慢強さももっています。



『あこがれの図書館』 ポラッコ / 著 さ・え・ら書房 (E) 【城】



農場でくらすパトリシアは町に引っ越してきました。新しい家の近くにはお城のように大きくて立派な図書館があり、読字障害で字を読むのが苦手なパトリシアは、美しい画集を眺めに通います。やがて彼女の絵に対する情熱を知った図書館員のクリービーさんは、特別貴重なオーデュボン画集に出会わせてくれました。

作者の将来に大きな影響を与えた思い出を描いた作品です。

『大谷翔平特集』 repicbook(289) 【城】

2024年、ドジャースに移籍して念願のワールドシリーズで優勝する夢をかなえた大谷翔平選手。数々の偉業を達成した世界のスーパースターの活躍の足跡をたどります。少年時代から続いてきた誠実なその姿勢が、現在につながっていることがわかります。



『子どものハンドメイドレッスンBOOK』 松村忍 / 監修 朝日新聞出版(594) 【城】



学校や家で使ったり、家族や友だちにプレゼントして楽しめるすてきな小物がたくさん紹介されています。手作りが好きな人は、ぜひチャレンジしてください。高学年向き。

【城】 → 「本の城」にあります。【ランド】 → 「本のワンダーランド」にあります。
*は続きのお話があります。